



# はあもにいの事業や活動をご紹介します

## 本当にやりたいことを見極めて 納得できる生き方を

今年度のはあもにいウィメンズカレッジ公開講座は、今年春まで熊本のTV番組でキャスターを務めていた村上美香さんを講師に迎えました。

ワーカホリック(私生活を犠牲にして仕事に打ち込んでいる状態)を自覚していた村上さんが働き方と私生活のバランスを考えるようになったきっかけは、熊本地震で犠牲になった被災者の日記にあった「今日も素敵な1日だった」の一文。「仕事だけではない人生を送ろう！」と決心し、会社を辞めて起業したいきさつを語ってくれました。また、取材で出会い、感じた「納得できる生き方」について、写真や動画、歌のCDを交えながら紹介。優しく語りかける村上さんの話しぶりに、会場の皆さんが引きこまれていました。

講演後の質疑応答では、村上さんが一つひとつ丁寧に回答し、参加者からは「心が疲れない働き方というフレーズに感動した」「ポジティブ精神の原動力など聞かせていただき、元気になった」「私も1日1日を大切に楽しく生きようと思った」などの感想が寄せられました。



自身のがん罹患経験や母親の死、独立への決意などプライベートの話も交えてのトークを展開する村上さん



「どんな人生が納得できる人生だと思いますか？」参加者に歩み寄りながら問いかけます



健康で働き続けるための「脳エクササイズ」をみんなで実践。会場全体が大盛り上がり！

はあもにいウィメンズカレッジ公開講座  
ワーク・ライフ・バランス講座  
納得できる生き方、していますか？  
～女性の生き方とワーク・ライフ・バランス～  
実施日時：平成30年9月8日(土) 10時～12時  
場所：多目的ホール 参加者：132名  
講師：村上美香氏(元KKKアナウンサー/ヒトコト社代表)

## 研究するって面白い！ 科学者になった11人の物語

伊藤由佳理 / 編著

植物学、医学、工学、薬学、数学、生物学など、それぞれ大学や研究機関で働いている理系の女性科学者たちが、進路選択の過程や研究者となった道筋、そして現在の仕事について語ります。



執筆陣に共通しているのは、自らの研究を心から楽しんでいる点です。大学では文学部で歴史を学び、今は植物同士や植物と昆虫との相互作用などを研究している先生、天然物有機化学分野から、現在はマラリア原虫を海外で研究している研究者など、紆余曲折の道のりが紹介されています。

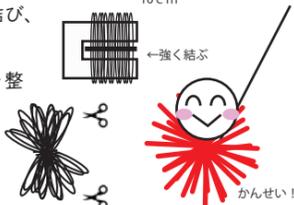
情報資料室  
おすすめ本

## 今月のあ・そ・び

バックにつけてもかわいいですよ！

### 「ボンボン みのむしちゃん」

- カラフルな毛糸、段ボール(10cm×6cm)、色画用紙、マジックはさみを準備します。
- 段ボールで型紙を作り(右図参照)、毛糸を100回ほど巻きつけます。
- 別に切った毛糸で真ん中を強く結び、両端をハサミで切ります。
- 型紙から外して、ボンボンの形を整えます。
- 色画用紙を顔の形に切り、顔を書いて結び目に貼ります。



毎月恒例

## よんでよんでの会

幼児室スタッフによるおススメ絵本の読み聞かせのほか、楽しい手遊びやふれあい遊び、紙芝居など！

11月6日(火) 11時～11時40分 1階ロビー ※予約不要

## わたしのギャラリー



はあもにいでは、1階エレベーター前壁面を「わたしのギャラリー」として、展示を希望するグループに使っていただいています。10月10日(水)～23日(火)は、ミント会さんの水彩画展示が開催されました(写真はミント会のメンバーの皆様)。芸術の秋にぴったりな、あたたかくて優しい作品が並びました。次回は11月15日(木)よりあまの会さんの水彩画展示を予定しております。お楽しみに！

## 「Hちゃんとお母ちゃん」



館長 坂本ミオ

小学4年生くらいの子が転入してきまして。日に焼けた顔はいつも笑っていて、への字に細くなった目と白い歯が印象的でした。

授業と一緒に受ける、彼女はあまり勉強が得意でないことがすぐに分かりました。先生に当てられても、ニコニコ笑って立ってました。

ある日、私が家の近くの大学の校庭で遊んでいた。少し離れたところで工事があっていました。当時は経済成長もったただ中の時代。工事の騒音がそこかしこで聞こえていました。その工事現場に一人、子どもがいます。不思議に思っ近づくと、Hちゃんでした。

「何してるの？一緒に遊ぼう」と声をかけると、いつもの笑顔で首を振ります。「お母さんと一緒にいい。Hちゃんのお母さんがそこで働いてたのです。私は小学生の不躰でいろいろ彼女に聞きました。そして、彼女が母一人子一人の家庭であること。この工事が終わるとお母さんはまた次の現場に移るため、すぐに転校すること。これまでもずっとそうだったこと、などを知りました。

気づけば、いつの間にか彼女は転校しており、私の記憶からも消えていきました。

それから長い時間が経ちました。大人になった私は時折、あの時の彼女の姿が鮮明に思い出されるようになりました。時代とともに母親の職種は変わっても「Hちゃんとお母さん」が多い現実を知るようになったからでしょうか。

## 「男と女の△劇場」



### ～マンガで考える「男女共同参画」～

熊本市では熊本市職員が当事者に対する正しい認識を持つとともに、その生活上の困難等を十分理解し、寄り添った対応を行えるよう、基礎的な知識をとりまとめた「LGBTなどの性的マイノリティサポートハンドブック」を作成。また、市民の方向け「LGBTなどの性的マイノリティ啓発リーフレット～多様性を認め合い、誰もが、自分らしく～」も発行しています。市のHPからダウンロードが可能です。

## はあもにい内 1F ファミリー・サポート・センター〈熊本〉

子どもを預けたい方と預かりたい方とで作られる会員組織です。はあもにいの正面入口から入って右側スペースに事務局があります。

お気軽にお問い合わせください。  
※利用には登録が必要です

月曜日～土曜日 9:00～17:00

☎096-345-3011

## 総合相談室のご案内

相談は無料。秘密は守ります。安心してご相談ください。

(一般相談専用電話)  
☎096-343-8306

受付時間：火曜日～土曜日 10:00～16:00

(弁護士や臨床心理士による  
専門相談の予約)

☎096-345-2587

受付時間：月曜日～金曜日 10:00～16:00